



觀光振興施策・事業

第4章 観光振興施策・事業

1 施策の展開

中央市の観光による交流人口増加のための課題や地域の特性を踏まえ、目標達成のための施策を3つの基本方針により展開します。

1. 魅力ある観光拠点づくりと整備

中央市の歴史文化や地域伝統芸能の伝承などを取り入れた観光資源の掘り起こしと、既存観光施設の整備を行い、観光資源の充実を図ります。官民一体となった市民力による地域活性化を促進し、地域住民が楽しめる観光拠点の整備を行うことにより、県内外からの観光客の増加につながります。また、リニア開通に向けた新たな観光開発も必要となります。

●桜の里づくりの推進

桜は中央市の市の木であり「山の神千本桜」・「乙黒桜」・「妙泉寺のしだれ桜」の保全・継承に取り組み、良質な景観地点として観光に活用していきます。

●イベントの充実

スポーツ・農業・芸能文化など各分野で行われているイベントの洗い出しと内容検討を行い、計画的な開催によるイベントの充実を図ります。

●新たな観光ルートの設定

名所や文化財を巡る市内のウォーキングコースやお寺巡りコース、市内にある民間企業の見学など、中央市ならではの視点で隠れたスポットや楽しみ方を盛り込んだ観光ルートを設定します。

また、観光場所での案内ガイド等、ボランティアガイドが利用できる仕組みをつくります。

●観光資源の検証と活用

地域に眠っている美しい景観・歴史文化・伝統・郷土食・土産物などの掘り起こしや、現在ある、まゆ工房・つむぎ工房・陶芸工房や与一弓道場などの地域住民の趣味や技能を体験できる場の活用により、その魅力を県内外に発信し観光に生かす取り組みをしていきます。

●既存観光施設の整備

集客性を見込める既存観光施設の整備・維持を計画的に行うことにより、より一層の集客を図ります。

●リニア開通に向けた整備

リニア開通を視野にいれた観光拠点の選定と駐車場・トイレ・軽食販売などの整備に向けた検討を行います。



2. 農林業を活かした観光の推進

中央市の産業である農業と連携し、年間を通じた体験観光やイベントの開催により、観光客の誘致と地域の活性化を図っていきます。また、休耕地や耕作放棄地などの遊休農地を有効活用した新たな観光地点の整備を行います。

●遊休農地の観光利用

休耕地や耕作放棄地などの遊休農地を、体験耕作農地として県内外に紹介し、都市住民との交流活動に有効活用します。また、市の花であるれんげのほか、ひまわり、菜の花などで目でも楽しめる観光地点の開拓を進めます。

●交流圏場の確保と活用

体験耕作農地として交流圏場を確保し、グリーンツーリズム（都市農村交流）をはじめとする農業体験等を中心とした体験観光プログラムを充実させ、高速道路網や新山梨環状道路などの道路交通網の利便性を活かした首都圏からの観光客誘致につなげます。

●中央市特産品の開発と明確化

特産品であるトマト・とうもろこし・ブランド米「富穂」などに照準を当て、地域ブランドを確立していくことで市の特産品を明確化し、生産の奨励と販売の強化を行います。

また開発した特産品を観光PRや観光キャンペーンなどで活用することで地域の理解を図ります。

●農産物収穫体験場所の整備

市民、公社、NPO法人、民間会社などと協働し、季節の農産物の収穫体験ができる体験場所の検討や駐車場・トイレなどの整備を行い、日帰り農業観光の基盤づくりを図ります。

●ハイキング、レクリエーションの環境整備

山の神千本桜やたいら山といった市内の山林を散策できるようなハイキングコースや森林のバーベキューなど、自然を満喫できる環境整備を行います。

3. 地域資源を活用した宣伝戦略の強化

中央市のイメージアップと観光客誘致を行うための情報発信は不可欠であり、多種多様な手法での宣伝戦略が必要です。インターネット、新聞、テレビ、観光情報誌等での情報発信や高速道路サービスエリアへのパンフレット設置、イベントを通じた観光PRなど趣向を凝らした宣伝活動を推進します。また、観光場所での観光を有意義なものとするためのボランティアガイドの体制づくりを図ります。

● 中央市ホームページでの情報の充実

観光情報や桜の開花状況などをタイムリーに伝えるため、随時更新を行うことで、観光客のニーズに対応します。

● 観光情報の収集力および発信力の向上

市内における四季折々の観光情報を収集し整理を行い、新聞・観光情報誌などを活用した情報発信を行います。また、より充実させた中央市観光パンフレットの作成を行い観光PRに活用します。

● ターゲットを絞った重点的な観光PRの推進

首都圏をターゲットとした、サービスエリア・パーキングエリア・JRなどでの観光キャンペーンに参加し効率的・効果的なPRを実施します。中央市の特産品やご当地キャラクターなどを活用した観光PRで観光振興の強化を図ります。

● 旅行会社などへの情報提供や営業戦略

ツアーとして魅力が高いと考えられる観光拠点の受入体制を整え、旅行会社などへ積極的に紹介することで、新たな観光客の誘致を図ります。

● 他地域との相互交流の活性化

中央市の歴史文化と関わりのある、他区市町村との交流を図り、相互交流の活性化を促進します。また積極的な情報発信を行い、県内外の方に歴史や文化に触れる機会を作ります。

● 観光ボランティアガイドの設置と活用

各分野における観光案内ができる観光ボランティアガイドを設置し、活用できる体制を整えることで、充実した観光案内ボランティアの育成を図ります。

● 情報共有の場の設置

各観光拠点の取り組み状況について、情報共有ができる場を定期的に設け、円滑な観光振興の推進を図ります。

2 観光振興施策・事業の段階的な取り組みの推進

主な観光振興施策事業の段階的な取り組み

